



挑友真
戦愛理

豊岡中だより

第3号

磐田市立豊岡中学校 令和5年6月16日発行

「時間の使い方は いのちの使い方」 (6月14日(水)会礼 鈴木由佳子校長)

期末テストが終わり、いよいよ磐周大会が始まります。3年生にとっては、集大成となる大会です。振り返ると、楽しいこと、嬉しいこと、苦しいことなど、いろいろあったと思いますが、きっと「早いなあ」という気持ちで最後の大会を迎えていることと思います。

ところで、現在の、世界中の人口はどのくらいだと思いますか。去年の11月に、80億人に到達したそうです。その80億人、「おぎゃあ」と生まれてきた時から、育つ国が違えば、育つ環境も違って、全く同じ人はいません。背の高い人もいれば低い人もいます。お金持ちの人もいれば苦しい生活をしている人もいます。人それぞれです。

そんな中で、全ての人に平等なものがあるとすれば、それは何でしょう……。

その答えの一つが、「時間」です。誰にとっても1日は24時間。1年は365日。神様に、「私だけ1日を25時間にして」と頼んだとしても、これは絶対に無理なことですよ。誰にとっても、「時間」は同じで平等です。

しかし、生き物にとって、人間にとって、時間には限りがあります。必ず寿命というものがあって、その終わりがいつ来るかは自分には分からないけれど、その人その人にとっての「持ち時間」というものがあります。その持ち時間をどう過ごすか、それが、大げさに言うと「生きる」ということです。ですから、「時間の使い方は いのちの使い方」とも言えます。

それでは、その「時間」というものを、いったいどのように使っていけばいいのでしょうか。

「時間を有効に使おう」と思っているのに、ついつい時間の無駄遣いをしてしまう。そんな人はいませんか。「今日は体を休める日」と決めて、ゆっくりした時間を過ごすことは時間の無駄ではなく、有意義なことです。けれども、「勉強しなくちゃ」と思っているのに特に見たいとも思わないテレビをぼんやりと見てしまう、気づいたらゲームを何時間もしていた、というのは、時間の無駄遣いと言えるのかもしれませんが。つまり、自分で「何に時間を使い、何に時間を使わないか」を決めて、優先順位をつけ、実行すればいいのです。しかし、これが簡単なようで、実に難しい。

人間の持ち時間には限りがありますが、今、皆さんは「人生は永遠に続く」ように感じている人がほとんどだと思います。はるかに遠いゴールは見えない。なので、なんとなく過ごしてしまう。だからこそ、あまり遠くないゴール、短いスパンで、自分自身の「目標」を立てるのがいいと思います。マラソンのような長距離のランナーは、5kmごとのラップタイムを目安に走っています。期末テストまで、部活動の大会まで、合唱コンクールまで、高校入試まで、卒業式まで、というような予測可能な範囲で目標を持って、その目標を達成するための計画を立て、実行していく。これならば「生きている時間」を意味のあるものにすることができそうです。

時間の流れは常に一方方向です。ドラえもんのように自由自在にタイムマシンを使って逆戻りはできません。1日24時間、1年365日は誰にも平等です。しかし、自分が持っている大切な時間、その持ち時間をどう使うかは、あなた次第。あなたの人生の主人公はあなたです。

「時間の使い方はいのちの使い方」丁寧に時間を使うと、丁寧な人生が残ります。愛のこもった時間は、人生を豊かにしてくれます。6月10日、時の記念日にちなんでこの話をしました。



公衆電話廃止について

現在、職員玄関前に設置されている公衆電話が、8月2日（水）に撤去されることとなりました。本校の公衆電話は、月額利用料4,000円未満で（利用が少ない状態で）あるため、「公衆電話業務委託契約書第12条（利用が低い場合の措置）」に基づき公衆電話業務委託契約を終了し、公衆電話を廃止すると、NTTビジネスソリューションズから連絡がありました。

生徒が公衆電話を使用する主なケースは、下校時刻変更に伴う車によるお迎えの連絡をしたい場合です。今後、月行事予定で事前にお知らせしている下校時刻が変更された場合、「コドモン」にて変更の旨をお知らせしますので、御対応ください。公衆電話が撤廃されたことにより、御不便をおかけしますが、御理解と御協力をよろしくお願いします。



体育館扉前の土嚢について

昨年度の台風15号により学校西側を流れる上野部川が決壊し、本校の体育館（第2アリーナも）が床上浸水の被害にあいました。これにより体育館の床が盛り上がりしまったため、床の張替工事を行いました。今年、6月2日の台風2号接近による大雨で、上野部川の水位が上昇し、あと少しで決壊するところでした。上野部川が決壊対策がなかなか行われないため、今後も同等の雨量があった場合、体育館への床上浸水が心配されます。これを少しでも防ぐ手立てとして、体育館の扉前に土嚢袋を積むことにしました。大雨警報が出そうなときは、扉前にブルーシートを敷き、その上に土嚢袋を積み上げます（写真①）。それ以外は、扉の開閉ができるように、扉の前にコの字型に積んでおくようにします（写真②）。台風シーズンが終わったら、扉の近くに土嚢袋を積み上げ、ブルーシートを被しておくようにします（写真③）。



【写真①】



【写真②】



【写真③】

豊岡中学校のホームページのアドレスです。QRコードです。→ → →



<https://toyooka-j.city-iwata.ed.jp/>



Email : toyooka-j@city-iwata.ed.jp TEL:62-2085 FAX:62-5962 文責:小金澤克仁(教頭)